

未来を切り拓く資質・能力を育む高校教育推進事業 授業改善セミナー

教科指導講座報告

**道央ブロック
地理歴史・公民科**
令和4年3月28日
(主管教育局 石狩教育局)

令和3年12月16日(木)、北海道札幌南高等学校を会場に、地理歴史科、公民科の授業改善セミナー(教科指導講座)を開催しました。本セミナーには、石狩管内を中心に空知、後志、胆振、渡島、上川、オホーツク、釧路、根室管内から、遠隔システムによる参加を含めて38名の参加がありました。

本講座の実施内容等を紹介しますので、先生方の授業改善の参考として御活用いただければと存じます。

教科指導講座の概要

テーマ「地理歴史科、公民科の授業における探究的な学びと学習評価の充実に向けて」

I 研究授業

- 授業者 北海道札幌南高等学校 内海 景憲 教諭
- 科目 世界史A
- 単元 世界戦争と平和

II 参観者による 授業の振り返り



III 説明

- 運営者から学習評価の充実に向けた学習評価の進め方についての説明

V 助言

- 助言者 国立大学法人東京学芸大学 日高 智彦 准教授
- 内容 探究的な学びのとらえ方と作り方について

IV 研究協議

- テーマ 生徒が学習課題(問い)を自分事として捉えるための指導上の工夫等

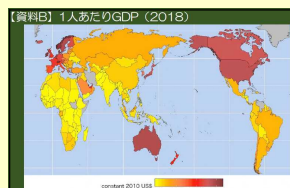
本講座の実施により期待される成果

- ・地理歴史科、公民科の授業における「探究的な学び」の一層の充実
- ・指導と評価の一体化に向けた学習評価の一層の充実

教科指導講座の実施状況①

【研究授業】北海道札幌南高等学校 内海 景憲 教諭

「歴史総合」の授業を想定し、単元の指導計画に基づき「帝国主義」をテーマに、生徒が「問い」を表現する授業を参観しました。生徒が「問い」を表現するに当たり、次の資料A～Cの3つ地図が示されました。生徒は、過去と現在を比較したり、関連付けたりしながら興味・関心や疑問をもてるように工夫されていました。



教科指導講座の実施状況②

【研究協議】 「問い」を表現する指導上の工夫について出された主な意見

- 生徒が「問い」を表現する上で、資料の読み取りが苦手な生徒のために、資料の読みやすさを意識し資料を作成している。その際、中学校の資料集が使いやすい。
- 生徒が学習課題を自分事として捉えるために、資料を読むとき、自分の立場を決めるように指導している。立場が変わると、資料の見方も変わってくる。
- 生徒が学習課題を自分事として捉えるために、「問い」の主語が「私は」になればよいのではないかと感じた。
- 生徒が表現した「問い」は、生徒同士が共有することで、様々な価値観を知り、自分自身が大事にしている価値観や足りないものに気が付くことになるのではないかと。

【助言】 国立大学法人東京学芸大学 准教授 日高智彦

- 私たちは、日常生活を断片的に捉えられている。
- そこで、概念（理論）をもつことにより日常生活で起きる具体的な問題を社会問題として認識することが可能となる。そのため、概念（理論）を獲得することが大事であり、学習指導要領においても、事例を通じて概念を獲得することが求められている。
- しかし、他者から概念を与えられても、問題を把握することができないため、概念を自分のものにするためには、探究のプロセスが必要となる。
- 内海教諭の研究授業で用いられた資料は、ワクチン摂取率をはじめ1人1人の力では変えることができない「制約」に関する資料が多かった。
- 研究授業の導入で使用した3つの地図資料が面白かったのは、過去と現在を比較し、関連付けさせる使い方をしたためである。
- また、制約を変えるためにどのように主体的に働きかけをしたらよいかを考える資料として資料④（康有為）が示され、生徒が「問い」を生み出す仕掛けがなされていた。
- 今後、この仕掛けがどの程度うまくいったのか、いかなかったのかは、生徒の反応を見ながら学習評価（授業改善）に生かしていくことが必要である。
- 「歴史総合」において探究的な学びをつくる時に、共通テスト「歴史総合」サンプル問題が参考になる。サンプル問題は、生徒の主体的な探究のプロセスに即して大問・小問が構成されていたり、予め獲得する概念が設定され、多面的・多角的に思考し深めながら概念を獲得していく設計となっている。

教科指導講座参加者の声

【参加者の声】

- 生徒が資料を活用して問いを表現する授業が1時間の授業でできるとは思っていなかったため、今後の実践に生かします。
- 日常の授業を振り返り、改善を図る良い機会となりました。
- 研究公開授業のような授業をすべての授業で展開していくことは本当に大切だと思うと同時に、業務軽減なども大切だと改めて感じた。

【参加者アンケートの結果（一部）】

- 1 今回のセミナーで紹介した教材や指導方法、研究授業の内容等は、あなたの授業において活用できますか。
 - ・大いに活用できる 60.0%
 - ・活用できる 40.0%
- 2 今回の授業改善セミナーは、本道の高校生の学力向上のための教員の教科指導力の向上に役立つと思いますか。
 - ・大いに役立つ 50.0%
 - ・役だつ 50.0%

今回のこの報告及び当日の研究授業の資料は、次のウェブページに掲載しております。

<石狩教育局ウェブページURL>

http://www.dokyoj.pref.hokkaido.lg.jp/hk/ikk/koutougakkou_kyouiku_shidouhan.htm